

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ともしー
住 所	和歌山県和歌山市今福 2 丁目 7 番 2 1 号
電話番号	073-426-5578

事業所番号	3010120685
管理者名	棚原 哲子
対象年度	令和 3 年度

( I ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

( II ) 生産活動		
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		5
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上でない	○	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		点

( III ) 多様な働き方 (※)		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎ ②利用者を職員として登用する制度	就業規則等で定めている	○
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
④フレックスタイム制に係る労働条件	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件	就業規則等で定めている	○
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項	就業規則等で定めている	○
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
小計 (注1)		8
点		

( IV ) 支援力向上 (※)		
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	参加した職員が1人以上半数未満であった	
	参加した職員が半数以上であった	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表	1回の場合	○
	2回以上の場合	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ	いずれか一方のみの取組を行っている	
	いずれの取組もを行っている	
④販路拡大の商談会等への参加	1回の場合	
	2回以上の場合	
◎ ⑤職員の人事評価制度	人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアサポーターの配置	ピアサポーターを職員として配置している	
◎ ⑦第三者評価	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	○
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計 (注2)		9
点		

( V ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している		0
1事例以上ある場合:10点		点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				0

合計	
115	点 / 200点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV)

(I) 労働時間

前年度 (令和 3 年度)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	27,118	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,507	人	利用者の 1 日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	------------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間 (4 月 ~ 3 月)

前々年度 (令和元年度)

生産活動収入から経費を除いた額	17,408,070	円	利用者に支払った賃金総額	24,128,375	円	収支	▲ 6,720,305	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前年度 (令和 2 年度)

生産活動収入から経費を除いた額	20,361,663	円	利用者に支払った賃金総額	24,531,490	円	収支	▲ 4,169,827	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

(III) 多様な働き方

前年度 (令和 3 年度) における実績 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載)

① 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度を活用した人数 ● 名

※ 取得を進めた免許等: ○○○

制度の活用内容: ○○○

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 0 名

◎ うち 1 名は雇用継続期間が 6 月に達している

◎ うち 1 名は前年度末日まで雇用継続している

※ 登用した日 ● 年 ● 月 ● 日

勤務形態: ○○○

就業時間: ● 時 ● 分 ~ ● 時 ● 分

職務内容: ○○○

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 ● 名

※ 実施した期間: ● 月 ● 日 ~ ● 月 ● 日

就業時間 (在宅勤務): ● 時 ● 分 ~ ● 時 ● 分

職務内容: ○○○

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 ● 名

※ 実施した期間: ● 月 ● 日 ~ ● 月 ● 日

就業時間 (コアタイム): ● 時 ● 分 ~ ● 時 ● 分

職務内容: ○○○

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 1 名

※ 実施した期間: 4 月 1 日 ~ 10 月 18 日

就業時間 (短時間): 9 時 00 分 ~ 12 時 00 分

職務内容: 利用者 軽作業

精神不安定な状態が長く続き、お昼までの 3 時間労働とした。

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 2 名

※ 実施した期間: 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

就業時間 (早出の場合): 9 時 00 分 ~ 14 時 00 分

就業時間 (遅出の場合): 10 時 00 分 ~ 15 時 00 分

職務内容: 利用者 軽作業

通勤時間困難者と対人恐怖症の者

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 ● 名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 23 名

※ 取得した制度: 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間: 1 月 21 日

取得日数・時間: 1 日 又は 2 時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 ● 名

※ 取得した内容: ○○○

取得した期間: ● 月 ● 日 ~ ● 月 ● 日

就業時間: ● 時 ● 分 ~ ● 時 ● 分

職務内容: ○○○

(※) 当該制度等を活用した任意の 1 名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度 (令和 3 年度) における実績 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 数回 / 内部 1 回

対象職員数 5 人

うち研修受講者数 5 人

※ 研修名 生活再建カードで被災後の支援制度

研修講師 永野 海

実施日・受講者数 11 月 16 日 5 人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 1 回

※ 研修、学会等名 全国自立支援センター連絡協議会

実施日 10 月 23 日

※ 学会誌等名 ○○○

掲載日 ● 月 ● 日

発表テーマ 事業報告 スコア報告

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※ 先進的事業者名 株丹陽商会 A 型もも組

実施日 / 参加者数 10 月 26 日 2 人

※ 他の事業所名 ワーグイ F-style 工房

実施日 / 参加者数 3 月 22 日 2 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 ● 回

※ 商談会等名 ○○○

主催者名 ○○○

日時 ● 月 ● 日

内容 ○○○

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 3 年 4 月 1 日

人事評価制度の対象職員数 7 名

うち昇給・昇格を行った者 0 名

当該人事評価制度の周知方法 事業所通路への掲示

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している

※ 配置期間 ● 月 ● 日 ~ ● 月 ● 日

就業時間

職務内容 ○○○

⑦ 第三者評価

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※ 評価を受けた日 3 月 31 日

第三者評価機関 和歌山県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※ 認証を受けた日 ● 月 ● 日

規格等の内容 ○○○

(※) 実績のうち 1 事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、